



新生の我ら勁し



生活体験発表大会

SOS の出し方教育

6月7日（水）に、生活体験発表大会が行われました。これは、県内の定時制通信制の高等学校に在学する生徒が、学校生活を中心とした体験をまとめて発表し、相互理解を促進するもので、今回はその県大会に出場する生徒を決める校内大会として実施されました。



当日は、各ホームルームから選ばれた代表の生徒が全校生徒の前で発表を行いました。そして、それぞれの生徒が考えたことを発表し、相互理解の促進を図ることができました。



発表会全体を通して、次のような意見がありました。

「人それぞれ、大なり小なりの悩みや苦悩を持っていて、その悩みを解決しようと行動する姿に感銘を受けたので、自分自身も現状に満足することなく、心身共に、成長していきたいと思った。」

6月9日（金）に、「SOSの出し方教育」の時間が行われました。

最初にスクールカウンセラーの先生から、動画により「自分を大切に ストレスへの対処」というお話をいただき、そのお話を踏まえて、グループワークなどが行われました。



その後、各ホームルーム担任の先生から、ストレスへの対処などについてお話がありました。



講話のまとめとして、次のような意見が出されました。

- ・ストレスをためこみすぎず、まわりの大人に相談したり、ストレス発散をすることが大事だとわかりました。
- ・今日話を聞いて、自分の心に素直になることが大切だと思いました。悩みをいつまでも放置せず、解決することを目標にした方が、後々の自分の精神や体へのダメージも少なく済むことを学びました。